人・もの・ことの“つながり”を大事に

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和７年９月25日発行
第11号
中信教育事務所

↑
過去の「共に歩まん」はこちら

←過去の「マナビィ通信」はこちら

チームで磨き合う
～松本市立清水小学校 初任者研修メンターチームの取組～

松本市立清水小学校では、学年会を中心としたメンターチームが組織されています。そこでは、研修コーディネーターとメンターリーダーの先生を中心に、職員間の情報共有を図り、「チームで取り組む」ことを日頃から実践しています。メンターチームの先生方に、日頃から心がけていることについてうかがいました。

互いの取組を見合い、伝え合う

赤羽先生が来校する日には、朝の挨拶と合わせて一週間の様子を端的に伝えること、午後の打合せの時間に学年会で話した内容をじっくり共有することを心がけています。また、私達が普段から互いに相談し合うようにしているので、岡村先生も相談しやすくなっていると思います。

橋本先生
（メンターリーダー）
（4学年主任）

赤羽先生
（研修Co）

橋本先生が、朝から一週間の情報を共有してくれるおかけで、岡村先生との時間は、頑張りを支えられる指導に注力することができています。また、チームで情報を共有する取組は、良さも課題も謙虚に学ぼうという岡村先生の前向きな姿勢につながっていると思います。

岡村先生が困ったときにフォローを入れることを心がけています。また、岡村先生は授業中、私の学級の授業を覗いていることがあります。そうして主体的に動いていることが一番よいことと伝えています。

川澄先生
（授業づくり担当）
（4学年担任・教務主任）

初任者・岡村先生
（4学年担任）

市村先生
（学級づくり担当）
（4学年担任）

学年会の時間に、授業づくりや学級づくりについて、自分ならどのように取り組むか伝え、岡村先生がやってみたいものを選べるようにしています。

岡村先生とは、「交流及び共同学習」の際に、特別支援学級在籍の子が、どの授業なら参加できそうか、次の週の予定を見ながら相談しています。岡村先生の「個を大切にする気持ち」が伝わってきます。

永原先生
（特別支援教育担当）
（特別支援学級担任）

情報の共有

最初は些細な事を相談してもいいのかなと躊躇する気持ちもありましたが、赤羽先生からのアドバイスもあり、遠慮することなく話した方が良いと分かりました。今は自分から授業を観に行ったり、いいなと思う取組を実践するようにしています。

山野井先生
（研修等）
（1学年担任）

情報の共有

昨年度は私が初任者研修を受けていました。その経験から、次は「こんな研修だよ」「準備品はこんなふうに用意したよ」と声をかけるようにしています。岡村先生がひたむきに頑張る姿は、２年目の私にも刺激になっています。

渡辺校長先生

常にチームで取り組むことを意識してくれているので、生徒指導事案についても、学年が主体となりながら、校長・教頭も混ざって対応を考えています。また、他の学年にも情報の共有を図っています。先輩の先生方の姿を見て、岡村先生自身も相談してくれるようになりました。また、**岡村先生に「なぜその対応をするのか」等を伝える際、私達が改めて考えを整理する必要が生まれるため、そのやりとりを通して、自分たちも磨かれていると実感できます。それは、初任者研修のおかげと考えています。**岡村先生には、２学期も子どもと共に成長してくれることを期待しています。

チームで取り組む先輩方の姿が、岡村先生の主体的に自分を磨こうとする姿につながっていく様子を感じ取ることができました。また、校内研修がスムーズに進むよう、限られた時間の中での研修コーディネーターとメンターリーダーの連携も参考になりますね。2学期も初任者の先生方と共に学び続けたいですね。